

2023 年度 生涯学習センター動向

高梨 博子

生涯学習センターでは、学内外の生涯学習活動と連携して在学生・卒業生・一般市民に本学の知的財産・教育的資産を開放するという目的のもと、日本女子大学の伝統と特質を活かした公開講座事業、及びリカレント教育事業を継続して行った。以下、公開講座事業とリカレント教育事業に分けて活動を報告する。

1. 公開講座事業

(1) 公開講座

教養講座・語学講座・キャリア支援講座・リカレント教育課程連携講座に分けて企画・開講し、講座数は目白キャンパス・西生田キャンパス合わせて 118 講座、総受講者数は 1,725 名であった。教養講座及び語学講座は、一部を除き対面講座で実施した。キャリア講座及びリカレント教育課程連携講座は、講座の内容に合わせて対面、オンライン又はオンデマンドで実施した。キャリア支援講座については、前年度に引き続き、泉会の支援により通学学部学生の受講料を値下げして提供した。

(2) 地域連携活動

文京区との連携活動としては、「文京アカデミア講座」として大学内で行う講座を 4 講座提供したほか、文京区民が割引で受講できる「資格取得キャリアアップ講座」として、キャリア支援講座を 6 講座提供した。また、VOD 講座の仕組みを生かし、文京区が実施した講演会・講座を「文京 e ラーニング」として提供するために、2 つのコンテンツの作成・配信を請け負った。

川崎市教育委員会との連携活動としては、川崎市教育委員会・大学等高等教育機関連携事業として、西生田キャンパスで開講している教養講座及びオンライン講座のうち、地域貢献性の高いものを前期 8 講座、後期 8 講座の合計 16 講座を提供した。(このうち、後期 1 講座は休講となった。)

2. リカレント教育事業

「再就職のためのキャリアアップコース（以下、再就職コース）」、「働く女性のためのライフロングキャリアコース（以下、働く女性コース）」に加え、2023 年度は新たに「次世代リーダーを目指す女性のための DX 人材育成コース（以下、DX 人材育成コース）」を設置し、全部で 3 つのコースを運営した。

「再就職コース」については、25 回生 13 名が入学し、うち 12 名が修了した。このコースは文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」講座及び厚生労働省「専門実践教育訓練講座」に認定されており、専門実践教育訓練給付金には 3 名が申請した。

「働く女性コース」については、3 回生 34 名が入学し、うち 31 名が修了した。この

コースは文部科学省のBP認定講座のほか、2023年度から厚生労働省「特定一般教育訓練給付金」指定講座となり、22名が申請した。

「DX人材育成コース」については、1回生の入学者28名全員が修了した。このコースは2024年度より文部科学省のBP認定講座及び厚生労働省「一般教育訓練給付金」指定講座として開講する。2024年3月9日には、3コース合同の修了式（ハイブリッド）を成瀬記念講堂で執り行った。

（1）教育課程

「再就職コース」はオンライン授業（月・火・土）と対面授業（水・木・金）により実施し、「働く女性コース」と「DX人材育成コース」は全科目オンライン（一部オンデマンド配信）により実施した。

2017年度より開講している野村證券株式会社の寄付授業として、「再就職コース」においては後期科目「働く女性のための金融経済講座」を開講し、リカレント生8名が履修した。「働く女性コース」においても、同寄付授業として、後期科目「働く女性のためのブラッシュアップ金融経済講座」を開講し、リカレント生30名が履修した。両科目とも生涯学習センターのリカレント連携講座として本学在生も受講可とし、それぞれ13名と16名の在生が受講した。

文京区中小企業ダイバーシティ人材採用促進事業として、「中小企業で働く魅力を知る（オンデマンド）」、「就活必須スキルを学ぶ（Zoom）」を実施したほか、文京区内中小企業との交流会やキャリアカウンセリング（オンライン）を行った。

学部授業の科目履修については、対象となる「再就職コース」から、前期2科目2名が科目等履修生として履修した。

通信教育課程授業の科目履修については、2023年度を受講者は、「再就職コース」から1科目1名、「働く女性コース」から2科目2名であった。

東京商工会議所との連携講座については、連携授業である「ITリテラシー3（Access）」を「再就職コース」から8名、「働く女性コース」から4名が受講した。また、連携講座として「業務効率を上げるタイムマネジメント講座」をオンラインで実施し、「再就職コース」から8名、「働く女性コース」から16名、「DX人材育成コース」から15名が参加した。また、東京商工会議所主催の「会員企業と学校法人との就職情報交換会」に参加したほか、「教育・人材育成委員会」には委員として生涯学習センター所長の高梨が出席した。

JWUキャリア科目「女性と職業」については、「再就職コース」と「働く女性コース」から、それぞれ1名の修了生がゲストスピーカーとして登壇した。

（2）再就職支援

必修科目「キャリアマネジメント1、2」において再就職準備のための書類・面接指導を行ったほか、就職事務担当者による就職ガイダンスや進路相談等のキャリア支援を実施した。また、「修了生との交流会」を3回実施し、延べ20名の受講生が修了生と交流した。東京労働局との連携では、「マザーズハローワーク東京による再就職ガイダンス」を2024年1月に実施し、5名が参加した。独自のウェブサイトにより受講生及び修了生に

求人情報を提供し、企業への応募を支援した。また、カウンセラーによる面接を実施し、延べ103名が参加した。そのほか、リカレント教育課程主催の対面での個別・企業説明会には、企業10社、リカレント受講生・修了生延べ22名が参加した。

(3) 文部科学省申請事業

1) 文部科学省令和4年度「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」

文部科学省令和4年度の補正予算としての募集に採択され、10月より「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」を開講した。

2) 文部科学省令和5年度「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」における多様なチャレンジに寄り添う学び・社会参画支援モデルを構築するための実証事業

京都女子大学が代表校として申請を行い、本学と福岡女子大学とで連携したプログラム「ウィミンズカレッジ(KNF)連携マネジメント入門コース」を実施した。本学からは、東京商工会議所との連携による「タイムマネジメント講座」を提供した。

3) 文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」による「実務家教員COEプロジェクト」

2019年度より5年間に渡って実施された「実務家教員COEプロジェクト」が終了した。共同申請校である本学は、前年度に引き続き実務家教員模擬講義を学内にて実施し、リカレント教育委員会委員とリカレント担当講師は評価者として、リカレント受講生と学部生・院生は受講生として参加した。本学における2023年度の実習実施者数は8名、延べ受講者数は70名、延べ評価者数は64名であった。また、総括として2024年2月21日に社会構想大学院大学(高田馬場)でシンポジウムが開催され、本学からはリカレント教育課程講師の富山佳代先生が登壇された。

(4) 女性のためのリカレント教育推進協議会

第5回「女性のためのリカレント教育推進協議会」シンポジウム「アントレプレナーとリーダーシップ」を、2024年2月16日にオンラインで開催した。このシンポジウムには、大同生命保険株式会社から寄付支援をいただいている。講演、パネルディスカッションの後、各協議会会員校から2023年度の活動報告があり、本学からは生涯学習センター所長の高梨が報告を行った。

(5) 外部評価

1) 日本女子大学リカレント教育課程外部評価委員会

外部評価委員会を、2024年1月25日にオンラインで開催した。受講者数が減少している「再就職コース」については、本学としては社会や働き方の変化に伴い、役目を終えつつあると考えていたが、複数の委嘱委員から、社会的な需要はまだあるのではないかとのご意見をいただいた。

2) 日本女子大学リカレント教育課程DX推進事業実施委員会

文部科学省令和4年度「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育

推進事業」による「DX人材育成コース」開設に伴い、2023年度にDX推進事業実施委員会を新設した。委員会を7月25日と3月15日の2回開催し、12団体からの委嘱委員が出席した。また、DXに関するヒアリングを委員の所属する各団体に実施した。「DX人材育成コース」について高い評価をいただいたほか、DXを推進するにあたっては、デジタル技術力だけでなく、マネジメント力や課題発見力が重要との意見をいただいた。

（6）広報・取材等

受講生の募集に関しては、「スタディサプリ」（㈱リクルートの運営）を利用した広報を行った。受講希望者は、スタディサプリを通して、あるいはリカレント教育課程に直接資料請求をし、入学キャリア説明会に出席した人を対象に入学試験を行った。

また、取材やその他の要請への対応は以下の通りである。

1）取材への対応

- ・TAC株式会社：2023年6月1日、TACNEWS特集「大人の学びを考える」（紙面・Web）に生涯学習センター所長 高梨のコメント掲載
- ・GMOメディア株式会社：2023年6月7日、Web コエテコカレッジに日本女子大学リカレント教育の取り組みについて掲載
- ・日本経済新聞社：2023年8月20日、「女性活躍、リスクリングで推進 官民挙げDX人材育成」（紙面・電子版）に生涯学習センター所長 高梨のコメント掲載
- ・読売新聞朝刊：2023年12月19日、「大学最前線「リスクリング」参入に意欲」にDX人材育成コース開講について生涯学習センター所長 高梨のコメント掲載
- ・朝日出版社：2024年1月6日、月刊英語学習誌 CNN English Press「英語学習と『大人の学び』としてのリカレント教育」について生涯学習センター所長 高梨の巻頭インタビュー掲載
- ・財経新聞電子版：2024年1月22日、日本女子大学生涯学習センターで大同生命寄付講座「業務効率を上げるタイムマネジメント」を開催したことが掲載

2）その他の対応

- ・日立市生活環境部女性若者支援課男女共同参画推進室：2023年5月24日に視察があり、リカレント教育課程の概要説明及び授業見学の実施
- ・東京家政大学女性未来研究所：2022年7月26日、本学のリカレント教育についてオンラインでのヒアリング
- ・京都府生涯現役クリエイティブセンター：2023年8月27日、リカレントフォーラム「京都学び直し体感フェア2023」にて生涯学習センター所長 高梨が登壇
- ・武蔵野大学法学研究所：2023年11月20日、ビジネス法務学 Online シンポジウム「日本はなぜいつまでも女性活躍後進国なのか「ビジネスと女性のリカレント教育」」にて生涯学習センター所長 高梨が講演
- ・文部科学省男女共同参画共生社会学習・安全課、生涯学習推進課、及び経済産業省産業人材課：2023年12月8日に視察があり、リカレント教育課程の概要説明、意見交換、及び施設見学等の実施
- ・文部科学省生涯学習課、経済産業省産業人材課：2023年12月18日に視察があり、

DX人材育成コースについてオンラインによる意見交換及び授業見学

- ・女性のためのリカレント教育推進協議会：2024年2月16日、第5回「女性のためのリカレント教育推進協議会」シンポジウム「アントレプレナーとリーダーシップ」において生涯学習センター所長 高梨が活動報告
- ・大学等を活用したリカレント教育 EXPO2024：2024年3月5日、文部科学省令和4年度「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」採択事業者として、展示ブースの出展

以上が昨年度の報告である。2024年度の展望としては次のとおりである。「DX人材育成コース」は、文部科学省令和4年度「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」終了のため、本学での自走に向けて、科目の調整を行うなど、定員を確保して継続できるように工夫する。「再就職コース」と「働く女性コース」は、変化する社会のニーズに照らして内容や運営の見直しを図る。

(たかなし ひろこ 生涯学習センター所長)

データ提供：生涯学習課